

安全にお使いいただくために

本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この冊子では、安全にお使いいただく上でお気をつけいただきたい点と、お手入れの際の注意点がまとめてあります。

表示記号について

本書では、本機を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために事項を下記の記号で表示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。



お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

- 外部要因によって生じた本機の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



警告

湿気が多い場所では演奏しないでください。

感電の恐れがありますので、直接雨がかかる野外や風呂場などの湿気が多い場所では演奏しないでください。



注意

楽器を振り回さないでください。

演奏中にギターを振り回したり体のまわりでギターを回したりすると、ギターがストラップから外れたり、まわりの人に当たってけがをさせるなどの事故の原因になりますのでおやめください。



演奏中に顔を楽器に近づけないでください。

ギターの低音弦やベース等の太い弦が切れた場合、手や顔に当たってけがをする恐れがあります。弦が切れる前にこまめに新しいものと交換してください。また、ギターの演奏中や弦の交換、調整をするときに顔に弦を近づけないでください。弦が切れて顔にケガをする場合があります。特に切れた弦が目に入ると目を傷つけ、場合によっては失明の恐れがあります。ギター、ベース用弦は消耗品です。弦が古くなっている、通常の弾き方をしていても関わらず（特別に強く引いたりしなくても）、演奏中に弦が切れてしまう場合があります。



極端な大音量で鳴らさないでください。

ギターアンプ、ヘッドフォンを使用する場合に、長時間大音量で使用していると回復できない難聴になる恐れがあります。またアンプの故障の原因にもなりますので、極端な大音量での使用は避けてください。

さびた弦を使わないでください。

弦（特にギターの1、2、3弦）がさびてくると、弦で指を切ってけがをする恐れがあります。こまめに弦を新しいものと交換してください。



ストラップがゆるんだまま演奏しないでください。

ストラップを使って立って演奏する場合は、ストラップが確実にストラップピンにかかっていることを確認してください。ギターが足の上などに落下してけがをする恐れがあります。

ピックガードの尖ったところに注意してください。

エレクトリックギターの一部のモデルでは、デザイン上ピックガードの先端部分が非常に鋭くなっています。ピックングの際やクロスで清掃するときなどにけがをしないようにご注意ください。

トレモロプレートの取り扱いでケガをしない様にご注意ください。

特定機種種のギターは、ギターからのトレモロプレートの脱落を防ぐために、ネジを使わずに磁力を使って固定されています。取り付け、取り外しの際に誤ってボディとプレートの間で手や指を挟んだり、プレートの切断面で手や指を切ったりして、ケガをしないようご注意ください。



注意

フレットエッジ部分でのケガに注意してください。

ネックの乾燥により、フレットのエッジが指板からはみ出す場合があります。手などにケガをする恐れがありますのでご注意ください。

無理に弦を張らないでください。

弦を張る場合は、本来の音程以上に強く巻かないよう、チューニングをしながら丁寧に巻いてください。必要以上に強く弦を巻いてしまうと、新品の弦であっても切れてけがをする恐れがあります。また、切れた弦が目当たった場合などは失明の危険がありますので、弦を交換する際は、弦に顔を近づけることはおやめください。

トレモロに指をはさまないよう注意してください。

トレモロシステムには弦の張力を支えるために非常に強いばねを使用しています。弦を交換する場合など、トレモロ部分で指をはさんでけがをしないようご注意ください。



弦で手を傷つけないように注意してください。

弦の先端の切断面は非常に鋭くなっており、直接触れると手を傷つける恐れがあります。チューニング時やヘッドをクロスで拭く時には、弦の先端に手が触れないように注意して行ってください。糸巻きの際の余った部分が指に当たらない程度まで短く切り揃えてください。



換気の悪い場所ではスプレー式クリーナーを使わないでください。

スプレー式のギタークリーナーなどを使用する場合は、換気に注意してください。風通しの悪い場所で使用中に中毒症状を起こす恐れがあります。また可燃性のものは火気に十分注意して作業してください。



ケースのふたやバッグのファスナーを開けたまま持ち運ばないでください。

ギターケース、バッグに入れて持ち運ぶ場合は、ケースの留め金やファスナーがしっかりとしまっていることを確認してください。



お願い

分解、改造、修理をしないでください。

ギターの分解、改造、修理は故障の原因になり、感電の恐れがあります。

古くなった電池を楽器に入れたままにしないでください。

乾電池を使用した製品では、乾電池の液漏れ等にご注意ください。また、乾電池は使用しない場合でも自然に放電してしまう特性がありますので、定期的に交換することをおすすめします。乾電池を捨てる場合は、自治体、電気店等の専用の回収箱をご利用ください。また、使用済みの乾電池を火の中に入れてと爆発する恐れがあり非常に危険です。

バッテリーは正しく使用してください。

バッテリーの極性(+)を逆に挿入しないでください。バッテリーの+極と-極、バッテリー挿入部もしくはスナップの極性を必ず合わせて挿入してください。万が一、逆に挿入した場合には、音が出ない、プリアンプ部の破損、発火の恐れがありますのでご注意ください。

ギターの表面を樹脂製品などに接触させたまま保管しないでください。

樹脂製品や家具などの塗装されたものに、ギターの表面を直接長時間接触させた場合、双方に色移りや溶着が起きる恐れがあります。布製の袋に入れるなどして直接それらに接触しないように保管してください。

ベンジン、シンナーでは拭かないでください。

ギターの表面をクリーニングする場合にベンジン、シンナー等の薬品を使用すると、変質したり変色したりする恐れがあります。ギター用として販売されているクリーナーをご使用ください。

保管、運送などでは以下のような点にお気をつけください。

- ・ギターは木製品です。投げたり落としたりすると容易に破損してしまいます。丁寧に取り扱いください。
- ・高温・多湿の場所、砂やほこりの多い場所を避け、換気の良い場所に保管してください。
- ・直射日光が当たると、塗装等の色があせてくる恐れがあります。
- ・雨の中で演奏するなどしてギターに直接水分がかかったり、炎天下での演奏など高温の場所に長時間さらされると、ボディ、ネック等の木部に狂いを生じる恐れがあります。
- ・宅急便などを利用して輸送する場合は専用のハードギターケースを使用するか、丈夫なカートンを使用して緩衝材を十分めて梱包し、フレット扱いにしてください。楽器店で購入したときのカートンは運送用には適していない場合があります。そのまま出荷すると破損する恐れがあります。

